

【別紙様式 3】

再評価実施事業調書

番号	2	事業名	社会資本整備総合 交付金事業（街路事業）		路線又は箇所名等		習志野都市計画道路 3・3・3号藤崎茜浜線		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成9年度	用地着手年度	平成10年度	工事着手年度	平成25年度	再評価の理由	再々評価		
				工事終了(認可)年度	令和7年度				
費用便益比 B/C	1.2 (3.4)	総費用	184億円 (66億円)	総便益	223億円 (223億円)	基準年	令和 5年度	供用開始 年度	令和 7年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

(目的)

本路線は、習志野市の内陸部と臨海部を南北に結ぶ都市計画道路であり、市の骨格をなす幹線道路である。当該事業は、JR総武本線及び京成本線等との立体交差（跨線橋）を含むバイパスを整備するものであり、京成津田沼駅周辺に集中する通過交通の分散やボトルネック踏切からの交通を転換し、都市交通の円滑化を図るものである。

(実施内容)

- ・ 総事業費：150億円
- ・ 事業延長：L=635m
- ・ 事業認可期間：平成9年度～令和7年度

【事業の進捗状況】（令和5年度末見込み）

	全体計画（億円）	投資事業費（億円）	残事業費（億円）	進捗率（%）
全体	150	83	67	55

【社会経済情勢等】

- ①本路線西側に並行する市道（00-005号線）と京成本線との踏切（京成津田沼第1号）は、慢性的な渋滞が発生しており、国土交通省の行った踏切交通安全実態総点検においても、自動車と歩行者のボトルネック踏切に分類され、抜本対策の検討が必要とされている。
- ②本路線東側に並行する市道（00-011号線）は、歩道の幅員が狭く歩行者と自転車がすれ違うこともままならない状態であり、路肩を通行している歩行者も見受けられる。
- ③周辺の道路は通学路に指定されているが、歩道未設置の区間もあり通学時等の児童の安全性の確保が求められている。

【対応方針（案）】



継続

全体事業の費用便益比（B/C）が1.2（残事業3.4）であり、投資効果が見込まれる。

整備効果として、周辺道路の渋滞の緩和、走行性の向上、緊急車両の移動時間短縮等の効果があると考えられる。

また、歩道の設置による歩道利用者の安全性の向上等の効果が期待できることから、事業を継続し、効果の早期発現を目指す。

事業概要図

番号	2	事業名	社会資本整備総合 交付金事業（街路事業）	路線又は箇所名等	習志野都市計画道路 3・3・3号藤崎茜浜線
<p>位置図</p>  <p>都市計画道路 藤崎茜浜線 L = 0.6 km</p>	<p>標準横断面図</p> <div style="text-align: center;"> <p>一般部</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>橋梁部</p> </div> <p>(単位：mm)</p>				
<p>平面図</p>  <p>藤崎茜浜線 事業区間 L=635m</p>					

【別紙様式 5】

## 再々評価事業に関する調書

番 号	2	事 業 名	社会資本整備総合 交付金事業（街路事業）	路 線 又 は 箇 所 名 等	習志野都市計画道路 3・3・3号藤崎茜浜線
事業化年度	平成 9 年度	用地着手年度	平成 10 年度	工事着手年度	平成 25 年度
<b>【再々評価（前回）の概要】</b>					
再々評価実施年度 （基準年）	平成 30 年度	供用開 始年度	平成 37 年度	対応方針	継続
B / C	1. 2 (2. 2)	総費用	150 億円 (82 億円)	総便益	175 億円 (175 億円)
※上段：全体事業 下段（ ）：残事業  再々評価時の委員会の意見及び当時の状況 ○継続することが妥当である。 当時の状況 進捗率は全体 28%（事業費）、用地取得面積 95% 跨線橋工事を進め、令和 7 年度に供用を目指す。					
再々評価時の進捗状況及び再々評価時想定の 5 年後の進捗状況					
		計 画		進捗状況	
全体事業費		150 億円		42 億円 (28%)	
用地取得面積		15, 261 m <sup>2</sup>		14, 422 m <sup>2</sup> (95%)	
供用延長		635 m		0 m (0%)	
<b>【再々評価（今回）の概要】</b>					
再々評価実施年度 （基準年）	令和 5 年度	供用開 始年度	令和 7 年度	対応方針	継続
B / C	1. 2 (3. 4)	総費用	184 億円 (66 億円)	総便益	223 億円 (223 億円)
※上段：全体事業 下段（ ）：残事業  現在の進捗状況					
		計 画		進捗状況(令和 5 年度末見込み)	
全体事業費		150 億円		83 億円 (55%)	
用地取得面積		15, 261 m <sup>2</sup>		14, 494 m <sup>2</sup> (95%)	
供用延長		635 m		0 m (0%)	
再々評価後 の経過 及び 処理状況	・令和 7 年度までに供用を目指す。				